

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名	コード 15920	親と子どもの絆プロジェクト事業	予算科目	会計 一般	款 3	項 3	目 1	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業(重点施策) 重2 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業
所管課	子育て支援課		担当班	保育班					
基本施策	7	子育て支援の充実	根拠法令	旭市親と子どもの絆プロジェクト事業交付要領					
施策の展開	16	結婚・子育て環境の整備	戦略事業	79 親と子どもの絆プロジェクト事業					
施策の展開			戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 28 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	児童の豊かな心を育むことを目的として、人間形成が培われる幼児期の児童に対し、民間保育所(5ヶ所)、民間幼稚園(1ヶ所)、認定こども園(3ヶ所)、公設民営保育所(1か所)、その他団体(旭市立保育所後援会、旭市立保育所連絡協議会 13団体)が企画する、親子や世代間、地域の交流などの事業に要する経費を助成する。補助額上限10万円。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
核家族化や少子化が進む中、親子や世代間、地域間の交流の場を提供することで、児童の豊かな心を育む。	核家族化に児童が、世代間や地域間でふれあう場が少なくなり、絆が薄くなっている。	各園の意見として、日頃、児童との交流の場の少ないお年寄りや、地域の方々と交流ができ、また親子の絆も深めた。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円	
1.負担金及び補助金	2,314 親と子どもの絆プロジェクト事業補助金(22団体)
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	
3.地方債	
4.その他	ふるさと応援基金繰入金

事業費	費目内訳	1. 負担金及び補助金	千円	2,300	2,300	2,314	2,314	2,414
		事業費計(A)	千円	2,300	2,300	2,314	2,314	2,414
財源	1. 国庫支出金	千円						
	2. 都道府県支出金	千円						
	3. 地方債	千円						
	4. その他	千円			2,300			
	5. 一般財源	千円	2,300	2,300	14	2,314	2,414	

前年度増減理由	増減なし
---------	------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

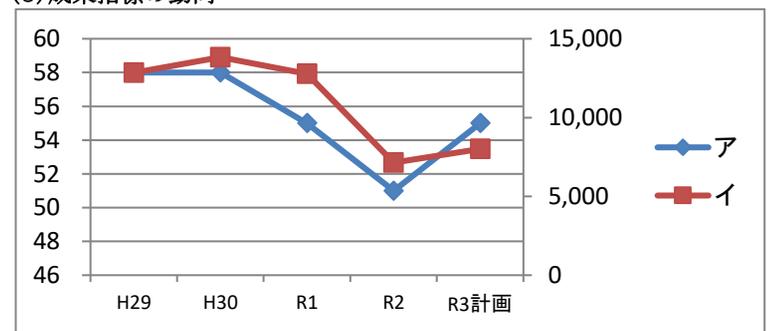
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動)							
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	対象 園児、保護者、地域住民 意図 様々な交流により児童の豊かな心を育む 対象意図 園児、保護者、地域住民 保育活動に対する理解を深める							
		ア 親と子どもの絆プロジェクト事業を活用して行われた事業数	件	58	58	55	51	55
		イ 事業参加延人数	人	12,833	13,827	12,765	7,142	8,000

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率	
	普通	かなりある		下位 1/3
	小さい	ある程度ある		中位 1/3
		ほとんどない	上位 1/3	
		⑤	①	
			②	
			③	
			④⑤	
			⑥	
			⑦⑧	
			⑨	
			(4)	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難	
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	夏祭り・運動会・芋ほり・お遊戯会など、本補助金以前から元々各園で行われていた行事の費用に充てられることが多く、児童の豊かな心を育むという本補助金の目的にどの程度役立っているのか疑問。コロナ禍により保護者や地域住民と交流活動することが難しい現状もあり、補助金の制定から5年が経過した今、見直しの時期に来ていると思われる。	
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ
【コメント】 (低下の場合、その理由)	数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	新型コロナウイルス感染症の関係で、保育所の活動が制限されたため。また、保護者や地域住民が参加する機会がほとんどなかったため、参加延人数が大幅に減少した。	
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容
		事業の見直しを実施し、規模の縮小や廃止を検討していく。
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> その他( )
		事業の見直しを実施し、規模の縮小や廃止を検討していく。